

## 世界自閉症啓発デー2026(令和8年4月2日)に寄せて

毎年4月2日は、国連の定める「世界自閉症啓発デー」です。我が国でも、4月2日から8日までを「発達障害啓発週間」として、様々な啓発活動に取り組んでいます。

今年は、「ちがいはちから、つながりは未来」をキャッチコピーとして、全国各地で、自閉症のシンボルカラーである青色で地域を照らす「ライト・イット・アップ・ブルー」など様々な取組が行われています。

また、すべての子どもたちのアイデンティティーや友情を尊重し、多様性豊かな社会で、子ども全員が自分自身に誇りを持ち、居場所を感じられるようにとの願いが込められた楽曲「WE BELONG わたしたちのうた」は、世界自閉症啓発デー日本実行委員会の公式テーマソングとなっています。

子ども家庭庁では、子どもの発達の多様性を尊重し、1人ひとりの子どもの健やかな育ちを支え、障害の有無に関わらず、地域で安心して暮らすことができるよう、地域における支援体制の強化とインクルージョン推進のための取組を着実に進め、発達の多様な子どもへの早期からの切れ目ない発達支援・家族支援等に取り組んでいます。

今後とも、子どもの視点に立って意見を聴き、その声を大切にして、子どもにとって最もよいことは何かを考えながら、「子どもまんなか社会」の実現と、すべての子どもが、それぞれの多様性を認め合い、尊重し合い、誇りをもって生きられる社会の実現を目指し、関係省庁とも連携して取組を推進してまいります。

「世界自閉症啓発デー」や「発達障害啓発週間」が、子ども1人ひとりの発達の多様性や個性を理解し、子どもや子育てをしている人の気持ちに想いを馳せて、寄り添う契機となることを強く期待して、私からのメッセージといたします。

令和8年4月2日

子ども政策担当大臣 黄川田 仁志